



第4期宮前区区民会議 第3回会議 次第

～みんなで力を合わせてくらしやすい地域社会をつくろう～



日時：平成24年11月20日(火)18:15～20:00

場所：宮前区役所 4階大会議室

1 開会 18:15～18:20

2 議事

①審議経過報告について

・環境を活かした人づくり部会 18:20～18:35

4-7ページ

・仮称)地域・世代間交流部会 18:35～18:50

8-15ページ

②部会審議内容に関して質疑応答・意見交換 18:50～19:25

③区民会議フォーラムについて 19:25～19:45

16-18ページ

④今後のスケジュールについて 19:45～19:50

23ページ

【議事終了】

3 その他諸連絡 19:50～20:00

・各委員活動紹介

・平成24年度地域課題対応事業案

19-22ページ

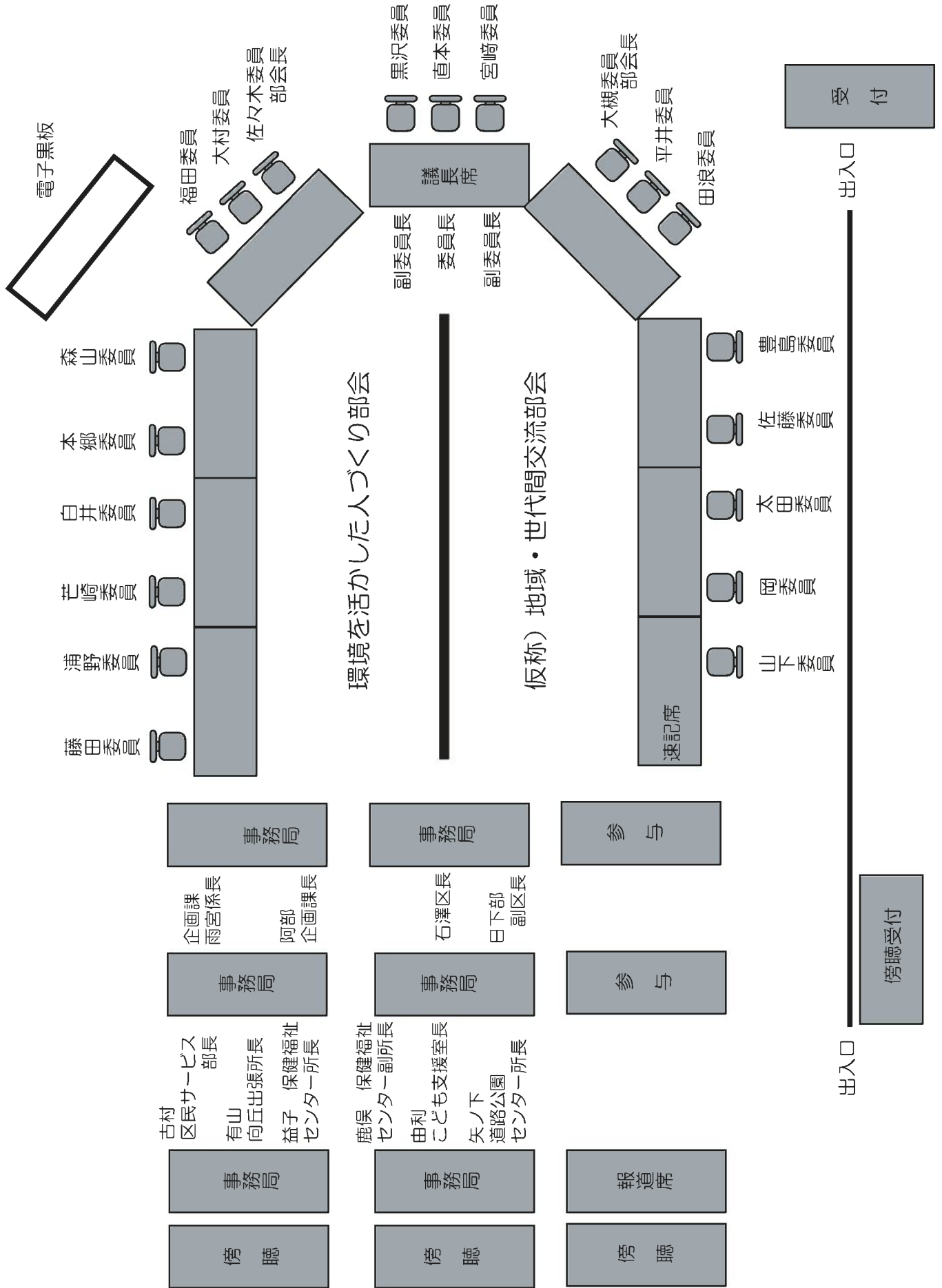
次回開催日 以下のいずれか

2月7日(木) 18:15～ 区役所大会議室

13日(水) 18:15～ 区役所大会議室

第4期宮前区区民会議 第3回全体会

窓 東急ストア側



テーマ①…環境を活かした人づくり

1、スポーツの推進

スポーツ指導者の養成、スポーツセンター指定管理契約、健康の増進

2、花・緑・川など身近な環境

四季の散歩道、緑化団体のイベント、花の配布、ポイ捨て禁止、
花に関する講習会、緑化団体の区内表彰

4、区民主体のお祭り

参加のみでなく手伝いできるイベント、まちづくりへの積極的な関与、
ウォーキング大会の実施

テーマ②…地域間・世代間の交流を深める

5、町内会・自治会・こども会の活性化

助け合いができるまち、こどもたちのふるさとづくり、子ども会活動の工夫、
町内会・自治会の好事例を紹介、防災対策などもPR

6、子育て親の地域意識醸成

子育てグループメンバーの囲い込み、子育ての仲間づくりから地域の仲間づくりへ、
自己実現につながる講座・講習の開催

7、こどもの教育を支援（学力・家庭教育）

ボランティアによる学習支援、宮前は「教育の区」というイメージの発信、
こどもの居場所、家庭教育支援、様々なスキルを通しての世代間交流

8、定年後の生きがい探し

高齢者のボランティア活動への参加、生涯学習の充実、よろずシニア相談の充実

9、孤独死・孤立死問題

高齢者の居場所づくり、隣近所の交流ある地域づくり、救急搬送時の諸連絡
町内会・民生委員・行政の連携による見守り組織



第1回仮称) 環境と人部会 【摘録】



日時：平成24年9月20日(木)18:15~20:00

場所：宮前区役所 4階第2会議室

【進行：仮部会長 黒沢副委員長】

1 出席確認

欠席：黒沢委員・藤田委員 【進行：代理 直本委員長】

2 部会の進め方

第1回部会：フリートーク

第2回部会：挙げた意見を集約し、方向づけ

11月全体会：方向付けの報告

第3回部会：具体的な提案の検討

3 具体的な提案の検討

別紙のとおり意見集約

4 部会長選出

過半数の推薦により佐々木委員が部会長に選出

5 部会名

環境を活かした人づくり部会 に決定

6 今後の日程

第2回 10月4日(木) 18:15~ 区役所4階第1会議室

■次回準備しておく資料

・公園体操マップ最新版

・今回挙げたキーワードに関する事例

7 参考

水沢の森見学について

◇9月28日午前 土橋小学校受け入れ

◇10月21日 区民祭で見学ツアー実施

都合のいいときに各自で見学してはどうかと提案あり

テーマ：環境を活かした人づくり

【総論】最終的な目標を「人づくり」に置く。目的意識を共有できるコンテンツを充実させ、多くの人に参加できる仕組みを作っていく。個別目的での参加がキッカケとなり地域全体への関心を高め、人づくりへとつなげていく

キーワード
人づくり・参加者を増やす・相乗効果

コンテンツ充実によるきっかけづくり

- 身近な取組など小さい単位からでも、目的を共有し、集まることから地域参加が始まる（直本）
同じ目的を持つ人はすぐに繋がる（浦野）
例：坂道ウォーキング教室＝健康づくりの目的
- 口火を切ってやりだす人の存在で地域が動き出す（芒崎）
- 「見返りが無くてもやりたい」と思える人ができるように（浦野）
- マイナスな箇所をプラスに転じることで地域の魅力を高め、地域活動に目を向けてもらえるようにする（直本）



情報発信によるきっかけづくり

- 駅周辺の施設などを活用し、イベント等存在自体を知ってもらう（佐々木）
- 宮前区の名所を見てもらうマラソンの開催など、区自体を知ってもらうことから地域へ目を向けてもらう（佐々木）
- 小さいイベント等も情報発信をしていくことで参加者が増えてつながっていく（森山）
- 注目されるとボランティア精神が目覚める（福田）



<h4>環境づくり（花・緑）</h4> <ul style="list-style-type: none">○区の花コスモスのPRを進める（福田）○花壇をつくるとその場所にはゴミ捨てされなくなる（芒崎）○公園を持ち回りで清掃していく（森山）○花壇づくり自体が人づくりにつながっている（福田）	<h4>環境づくり（健康・スポーツ）</h4> <ul style="list-style-type: none">○スポーツはやる場所が無いという問題もある（芒崎）○公園体操。場所により開催数がまちまち。拡充させたい（大村）○メジャーなスポーツを宮前で推していくことで地元注目してもらう（浦野）
<h4>環境づくり（健康+花と緑+区民参加のイベント）</h4> <ul style="list-style-type: none">○目的意識が「花」の人でも健康づくりの内容を盛り込んだテーマとすれば参加者の視野が広がる（浦野） ⇒例：花壇をめぐるウォーキング（花+健康+イベント） お花を植える前に準備運動として体操を取り入れる（花+健康）○環境の良いところでやるスポーツは効果が増す、相乗効果を見込んでいきたい（浦野）○水沢の森の活動自体が重労働なため、「花と緑+健康づくり」の事例になっている（本郷）	

※「こんな人をつくってきたい」というイメージはまだ意見として挙がっていません

人づくりの事例

- 水沢の森の活動が小学校のカリキュラムに組み込まれている。（バードウォッチング・芋ほりなど）森の活動⇒緑保全&健康づくり⇒多世代の人づくりの事例となる（本郷）
- 南野川ふれあいの森の「野川はあも」などに支援をしていくことで類似の効果を拡大できれば良い。ただ、当の団体が望んでいるかは別の話（本郷）

具体的提案の絞込みについて

- 一度参考となる活動の現場を見に行く（白井 本郷 佐々木）



第2回環境人部会 【摘録】



日時：平成24年10月4日(木)18:15~20:00

場所：宮前区役所 4階第1会議室

【進行：佐々木部会長】

1 出席確認

欠席：森山委員・浦野委員

2 前回会議摘録の確認

正式名称は「環境を活かした人づくり部会」だが、資料上は「環境人部会」と表記していくことを確認

3 具体的な課題解決への提案を検討 フリートーク

大村：まちづくり協議会で公園調査を実施した。まち協の花と緑の支援による講演会も先日開催され、団体同士のネットワーク化も進みつつある。

本郷：水沢の森の活動自体がスポーツ・健康づくりにもなりうる。

藤田：公園等の花壇については既に取り組みがある。街路樹について活用を考えるとできないか。

白井：土橋は老人会をメインとしたつくし会が公園体操を実施している。

福田：安心安全⇒環境づくり⇒人づくりというつながりがあると個人的には感じている。なぜ環境づくりが必要なのか意見を共有したい。

芒崎：花壇を手入れしているが盗まれたりすることもある。

黒沢：一度現地を見に行きたい。とんもり谷戸などが里山のモデルになるか。

佐々木：区の木、桜。宮崎台～鷺沼のさくら並木をめぐる取組を考えたい。

広報として区内のさくら祭りを一連の取組にすることもできるのでは。

直本：各地で花壇が管理されており、個人的にちょっと気になったことがあっても「手を出していいのかな？」と思い、やめてしまう。既存の団体等に入るハードルが高い。

福田：花壇のウォーキングマップをつくりたい。

本郷：坂道もウォーキングガイドを作ったが、活用して案内をする人がいない。商店街と連携したりできないものか。お金がなければ各助成金を活用する。

■事務局が浦野さんに電話して伺った件、報告

・ポールウォーキングで観戦ツアー

ウォーキング・サッカー観戦それぞれに興味がある人を巻き込み、お互いの分野を体感してもらう。イベントを通してライフスタイルにしていけるような取組を。別々の目的を持つ人が交流することにより、それぞれの裾野を広げる取組にしていく。

・サルコン

フットサル合コン。スポーツ自体目的じゃない人が出会いの場を求めて集まる。

4 見学会の開催

【個人で参加】

水沢の森見学ツアー 10月21日(日)

11:00～、13:00～の2回。市民健康の森のテントがあり、そこで受付。

区民祭プログラムのため区民会議委員以外の方も参加されています



【部会としての開催】

区内緑化活動スポット見学ツアー 11月14日(水) 9:00、区役所集合

※見学方法はマイクロバスを想定

5 今後の日程

第3回全体会 11月20日(木) 18:15～ 区役所4階大会議室

第3回環境人部会 12月6日(木) 18:15～ 区役所4階第1会議室



第1回 (仮称) 地域・世代間交流部会 【摘録】



日時：平成24年9月25日(木)18:15~20:00

場所：宮前区役所保健福祉センター1階集団教育ホール

【進行：仮部会長 宮崎副委員長】

1 出席確認

欠席：平井委員

2 部会の進め方

第1回部会：フリートーク

第2回部会：挙げた意見を集約し、方向づけ

11月全体会：方向付けの報告

第3回部会：具体的な提案の検討

3 具体的な提案の検討

別紙のとおり意見集約

4 部会長選出

過半数の推薦により大槻委員を部会長に選出

5 部会名

未決定 第2回部会以降の検討課題

6 今後の日程

第2回 10月16日(火) 18:20~ 区役所4階第1会議室

■次回準備しておく資料

- ・区内わくわくプラザの現況
- ・今回挙げたキーワードに関する事例

テーマ：地域・世代間の交流

【総論】 小学校区程度の徒歩圏内地域をベースに、世代や活動分野を越えた区民の交流、新たな参加層の確保などによる、地域コミュニティの場の形成を目指す。宮前区の特徴、教育を活かした取組みが何か考えられないか。

キーワード

小学校区・横のつながり・
世代交流・教育

課題：高齢化

- ボランティア活動者が高齢化している。60・70代のニーズに答える、活動しやすい環境づくりが必要。(太田)
- 自治会組織の高齢化、世代交代の難しさが見られる(山下・豊島・太田)
- シニアよろず相談では老後のあらゆる課題への対応が必要となっている(山下)

課題：新たな参加者の取り込み

- 地域の活動やイベントに参加するのは問題の少ない人、本当に困っている人をいかに参加させるか(大槻)
- ボランティアは「自分のためになる」ということをもっとうまくアピールしたい(田浪)
- 不安になると人は誰かとつながりたくなる。震災の際にはそれが顕著に現れた(田浪・山下)
- 新しい住民の方々とうまくコミュニケーションをとっていききたい(佐藤)

取組の方向性：世代・活動分野を超えた交流

- 高齢者が子育てに関わるなど、分野を超えた交流が必要。若い世代との交流を高齢者は非常に喜ぶ(直本・豊島)
- 初心にかえて、様々な団体が一緒に活動していくことが大切(佐藤)
- 既存の活動自体は元気に頑張っている。縦割り意識を超え、横につながっていくことが必要。(宮崎)

取組の方向性：小学校区をベースとした活動・交流

- 教育の価値観や環境は学区ごとに大きく異なり、区内一律には考えられない。(豊島)
- 孤独死・孤立死には地域レベルの対策が必要。自治会は規模が異なり、うまく機能していない例も(山下)
- 徒歩圏内である、小学校区をベースに地域を捉え、交流を図っていききたい(直本)
- 小学校をベースにすれば、親世代の関心や参加を得やすいのではないか(田浪)
- わくわくプラザはどのような場になっているのか。ただの託児になっているようではもったいない(大槻)

宮前区の特徴である「教育」を活かそう！

家庭教育、親教育の重要性

- あいさつなど家庭教育が大切と感じる(佐藤)
- 育児放棄などの問題も考えると、支援が必要なのは子どもよりも親ではないか(岡)
- 教育は世代間の問題、昔と今はつながっている(豊島)
- 家庭での父親、学校での教師の威厳がなくなった。子どもたちは大人の誰を信じたらいいのか(豊島)
- 自己責任感覚が薄れ、何事も他人のせいにしてしまう人が増えた(豊島)

既存の活動の現況

- 宮前区はおやじの会の活動がさかんで、ほぼ全校にあるようだが、地域との関係はそれぞれ。
- 親子学級の担い手も、他の分野や他の世代の活動にまではまだつながっていない(田浪)
- 向学意欲のある高齢者に答える場がまだ区内に充分でない(山下)

学校教育・地域教育・家庭教育を総合的にを行い、子どもたちが健全に育つようにしていくことが一番(大槻)

知りたい

自治会内でのコミュニケーションの良事例(山下) / 小学校区単位で世代交流・コミュニティ形成の良事例・福岡県飯塚市など(大槻) / わくわくプラザの現況(豊島・田浪・大槻)

第2回 仮称) 地域・世代間交流部会



【摘録】

日時：平成 24 年 10 月 16 日(火)18：20～20：20

場所：宮前区役所 4 階第 1 会議室

【進行：大槻部会長】

1 出席確認

欠席：平井委員、太田委員

2 前回会議摘録の確認

別紙配布資料に基づき確認

3 具体的な課題解決への提案を検討

わくわくプラザの運営現況、事例紹介について、別紙配付資料に基づき説明
その後意見交換→別紙のとおり意見集約

4 部会名

未決定 検討課題の絞り込みがまだ充分でないため

5 今後の日程

第3回 12月12日(水) 18：15～ 区役所4階第1会議室

■次回準備しておく資料

・学校支援センター現況

■次回までにやっておくこと

小学校と地域がどのように関わっているか、こども支援室と相談をしながら、現状把握をするためアンケートの依頼をだす

テーマ：地域・世代間の交流

【総論】 地域・世代間の交流による地域の教育力の総合的な強化に向けた課題を再整理。今後当面の作業として、学校と地域連携の現況把握を目指し、関係者へのヒアリング等を検討していく。

【キーワード】
学校と地域の連携・地域マネジメント・

課題：学校と地域の連携にむけた課題（学校側）

- 連携への道筋や内容が不明（大槻・山下）
- 学校が抱える問題やニーズなどの実態把握（大槻・直本）
- 地域が入ることへの学校側の抵抗感や理解不足（大槻・田浪）
- 地域にとって敷居の高い学校（豊島）

◆既存の連携活動例
菅生中プラスワン（英語・数学指導）／稗原小算数名人（九九指導支援）／囲碁・将棋指導／水沢の森での活動／農業体験など

課題：学校と地域の連携にむけた課題（地域側）

- 新しい人や若い人が入っていきにくい環境（山下）
- 過去 50 年で人口 10 倍、大部分が新住民（直本・山下）
- 自治会の活性化も学校との交流、世代間交流には不可欠（山下）
- 後継者不足による農業の縮小（豊島・山下）

◆既存の連携活動例
鷺沼町会（NHK で紹介）
北海道室蘭『自治会運営ハンドブック』

課題：家庭教育・地域教育の充実に関わる課題

- 核家族化。親の言う事を聞かない、祖父母と距離がある子ども（佐藤・田浪・豊島）
- 施設に集まり、外遊びをしない、自然体験に乏しい子ども（田浪・豊島）
- 便利さ追求により家事手伝いの機会がない子ども、料理ができない若い世代（岡・豊島・直本）
- 基本的しつけができない親・身につけていない子ども（大槻） 道徳観の喪失・価値観の多様化（岡・宮崎・山下）

取組の方向性：地域が関わることで、今の子ども・親世代に総合的な教育支援、他世代交流の場の形成を展開

- 大人や高齢者が地域に関わることで、地域の将来のためになる場を形成。小学校はあくまで場の一例（直本・田浪）
- 多世代で一緒に何かをする機会や場から、地域の目を子どもに感じてもらう（田浪）
- 小中学生の世代に働きかけていく。様々な体験・経験が出来る場を創出する（豊島・宮崎）

取組の方向性：まちづくりに戦略を

- まちづくりに対する戦略性を。緑・緑と言うだけでなく産業振興も必要（宮崎）
- 宮前区は緑が多くて良いとみんな言うが、他に特徴や取り柄がないから？（豊島・山下）
- 町内会が地域全体をマネジメントできるように成長を促すノウハウの導入（宮崎）
- 宮前区の特徴・特色を活かす視点が必要（コンサル）

具体的提案検討の前に現状把握がまず必要

当面の作業：学校・地域連携の現状把握

- 学校と地域の連携の制度や活動例の現状把握（大槻・直本）
- 学校支援センターの利用状況（大槻・佐藤・田浪・豊島・直本）
- 行政担当者・先進地域関係者等へのヒアリング

具体的活動のアイデア
部活動指導へ地域人材の活用（大槻）
区民祭で学区対抗のイベント実施（佐藤）

平成 24 年 11 月 19 日

宮前区内小学校長 様

第 4 期宮前区区民会議
委員長 直本 享子

**宮前区内の小学校における
地域との連携・交流・地域人材の活用 現況調査**

本年 9 月に立ち上げられた第 4 期宮前区区民会議の「仮称 地域・世代間交流部会」では、地域で世代や分野を超えた交流を進めることによる活性化・課題の解決の方向性について、現況調査や意見交換をしています。

つきましては、貴校で実施されている地域との連携・交流・地域人材を活用の現況や地域に対する課題やニーズについて、以下の質問にご回答をいただきたく、お願い申し上げます。

なお、この調査でいう“地域”とは、PTA やおやじ会等の保護者団体、企業や市民活動団体、町内会自治会や民生・児童委員、個人ボランティアなど、学校の教職員以外の全ての地域の団体、人材を含むものとします。

【問合せ先】

■区民会議・調査趣旨等に関する問合せ

宮前区役所企画課 区民会議担当 中村

TEL:044-856-3133 FAX:044-856-3119 E-mail:69kikaku@city.kawasaki.jp

■質問の内容・回答方法等に関する問合せ

教育委員会学校教育部 宮前区担当 併任

宮前区役所こども支援室 学校・地域連携担当 山田

TEL:044-856-3176 FAX:044-856-3171 E-mail:yamada-c@city.kawasaki.jp

締め切り：12 月 3 日

逡送便、FAX、メール等でまちづくり推進部企画課 中村（上記連絡先） まで

■学校名 ()

■記入者役職・氏名 ()

近年（過去数年以内）の実施状況について、概要を以下にご記入下さい。

1. 地域との連携・交流・地域人材の活用について

① 授業内における地域との連携・交流・地域人材の活用

想定事例：地域有志の算数指導支援、おやじ会や高齢者団体による昔遊び体験や戦争体験お話、自然活動団体による地域自然の紹介・案内など

科目・対象学年	地域からの参加者・団体	内容や頻度等

② 授業以外の活動・行事における地域との連携・交流・地域人材の活用

想定事例：交通安全教室、PTA バザー、合同防災訓練、地域高齢者との交流活動、挨拶運動、
登下校時パトロール、ボランティアによる部活指導支援など

活動名・対象学年	地域からの参加者・団体名	内容・頻度等

2. 地域に向けた広報活動について

想定事例：学校便りの発行、学校行事の公開、公開授業、ホームページなど

活動名	発信情報・掲載内容など	頻度・手法等

3. 地域との連携や交流・人材活用に向けた課題について
障害や課題と感じている事項がありましたら教えてください。(当てはまるもの全てにマル)

1. 教職員の負担 2. 施設管理責任 3. 財源の不足 4. 時間の不足

5. 児童の安全確保 6. 地域や保護者の理解 7. 諸手続きの複雑・面倒さ

8. 地域資源・人材の情報の不足 9. その他 ()

4. 学校と地域の連携や交流、学校における地域人材の活用について、学校側が地域に望むもの・今後への課題や要望・ご意見、などがございましたら、ご記入下さい。

ご協力ありがとうございました。

平成 24 年度 宮前区区民会議フォーラム 企画（案）

日時：平成 25 年 3 月 20 日（水・祝）10:00～15:00

会場：区内各地+宮前区役所 4 階 大会議室

サブタイトル（仮）：第 4 期宮前区民会議始動！ 地域体験から人づくりと世代交流を考える

ターゲット

企画趣旨

- ・ 室内で学び、話し合うだけのフォーラムではなく、地域の現場や区民会議のこれまでの成果を体験し、感じ取ってもらえるフォーラムを目指す。
- ・ これまでの区民会議の取組、今回のテーマである「人づくり」と「世代交流」について、ウォークラリーを通じて現場体験した後、皆で昼食、午後互いに感想や今後への意見を話し合う場を設ける。

広報：

プログラム

第一部（午前中・2～3 時間程度）：「みやまえ体験ウォークラリー」

- ・ 世代交流イベント企画。多世代で構成された 6～10 名のチームで「みやまえ坂道ウォーク」をアレンジした、区役所発&着のコースを一緒に周り、体験し、楽しむ形式
- ・ 道中でチェック（見学）ポイント 3・4 箇所を設け、これまでの区民会議取組や今回のテーマに関連する活動を簡単に紹介するとともに、チームで体験活動やミニゲームに挑戦する。

コース例： スタート：区役所前：情報サポーターズ出題「みやまえクイズ」

第 1CP：富士見台小学校：昔遊び・異世代交流体験

第 2CP：宮崎第 4 公園：公園体操体験

宮前平こ文：みやまえカルタ体験

第 3CP：土橋 7 丁目公園：出張プレーパーク体験

ゴール：区役所前：宮前兄妹と記念撮影

- ・ 参加目標：???チーム 総勢??～??名程度
- ・ 委員の出身団体、地域団体などを通じて参加者を募集。（地域・団体対抗にしても良いかも。）
- ・ 区民会議委員もチーム、もしくはチェックポイント運営に入る
 - ※ チーム名をつけたり、チーム別の色タスキをつけるなどチームの一体感が出るよう演出
 - ※ チェックポイントの運営は各活動団体や区民会議 OB、地域の若者などの手を借りたい

昼食（各自持参のお弁当で、チーム毎に一緒に食事）

※ 各チェックポイントの運営者も全チーム通過後、区役所に集合

※ 会場は会議室などを提供し、チーム毎の感想発表準備もこの時間にしてもらう

第二部（午後・1～2 時間）：「ディスカッション：みやまえの未来を語ろう！」

午前中のウォークラリーの感想発表会

参加チームだけでなく、各チェックポイント運営側にも集まっただき、感想を聞く

チーム毎に、楽しかったこと、今日新しく発見したこと、チームの特徴など発表してもらう

- ・ 全体ディスカッション

これからの宮前区の担い手を育てるには？／世代交流の輪を広げるのに必要なもの など

- ・ 第二部からの参加も可とし、全体ディスカッションは午前中からの参加者だけでなく、できるだけ多くの人に発言してもらう。

宮前区

平成20年度

区民会議フォーラム

地域の公園や資源(宝物)を通して、
宮前区のコミュニティを考えよう！

第2期宮前区区民会議 2つのテーマ

公園・地域づくり

誰もが使いやすい地域の公園、公園の安全・安心、区民のさまざまな活動や交流の場としての公園、そのための住民参加や公園の管理・運営方法などについて考えます。

公園を地域づくりの拠点にしよう！

紹介事例 有馬ふるさと公園
プレーパーク(ポレポレ)



宮前区の宝探し

～ときめき再発見～

地域の資源(宝物)を地域住民で発掘、共有、発信することを通じて、地域への誇りや愛着を育てる方法、宮前区の魅力や顔などについて考えます。

地域の資源を宮前区の宝物や顔に押し上げていこう！

紹介事例 野川ふるさとカルタ
(宮前第一地区社会福祉協議会)



宮前区の地域コミュニティについて、一緒に語りましょう!!

平成 **21**年 **3**月 **15**日(日)

13:30~16:30 宮前区役所 4階会議室

- 全体会(13:30~14:25) 宮前区区民会議活動報告・地域の活動事例紹介
- 分科会(14:35~15:35) 地域の公園、地域の宝物をテーマにみんなでディスカッション
- 全体会(15:45~16:30) 分科会の報告・まとめ

主催: 宮前区区民会議

問合せ(事務局): 宮前区役所企画課

電話044-856-3136 FAX044-856-3119 E-mail:69kikaku@city.kawasaki.jp

第3期宮前区区民会議フォーラム

プログラム

●日時：平成23年3月12日（土）13：30～16：00

●場所：宮前区役所 大会議室

■開会

■主催者あいさつ

宮前区区民会議 委員長 山下 浩

★第1部

13：35～14：35

■平成22年度の検討状況報告

第3期について 委員長 山下 浩

P.01～P.04

活力づくり部会 部会長 佐藤 利枝

P.05～P.14

地参知笑部会 部会長 持田 正美

P.15～P.23

■参考事例紹介

ZAMA坂道マラソン ～座間青年会議所～

P.30～P.50

直前理事長 濱野 真一さん

～休憩～

★第2部

14：45～15：25

■2つのテーマによるグループワーク

～休憩～

★第3部

15：35～15：55

■グループワーク報告

■閉会

平成25年度 宮前区地域課題対応事業計画（案）

基本政策	事業名	事業概要	区分	
安全・安心まちづくり事業	1	安全安心まちづくり推進事業	あらゆる分野の団体が加盟する「宮前区安全安心まちづくり推進協議会」を軸として、地域の防犯パトロールや、あいさつ運動の推進などにより、安全で安心して暮らせるまちを形成していく。	継続
	2	子ども安全・安心見守り事業 (区民会議課題)	登下校時に子どもを犯罪から守り、地域の安全を確保するために、宮前区子ども安全安心協議会の運営のほか、地域安全マップづくりの支援や情報共有を図るため通信を発行する。	継続
	3	防災意識普及啓発事業 (区民会議課題)	大規模災害に備え区民の防災意識の向上を図るために、防災フェアの開催、防災ニュースの発行を行うほか、防災推進員養成研修及び防災推進員フォロー研修を開催する。	継続
	4	地域防災力向上事業 (局区連携事業)	地域防災力を向上するため、行政機関・地域・事業者等が連携して地域防災への取り組みを行う。 平成24年度に設立した「宮前区地域防災連絡会議」の開催や地域防災組織等に対する防災専門機関による効果的な訓練の実施のほか、区地域防災計画の改訂を行い、広く地域の防災機関・団体等に配布する。また、向丘出張所に備蓄物資を配置できるように整備する。避難所標識を製作し、町内会の掲示板やコンビニ等に掲出、地域住民に指定避難場所を広く周知する。	新規
	5	地域交通環境整備事業 (局区連携事業)	行政拠点と商業拠点が分散していて一体感がない、山坂が多く移動の負担が大きい、公共交通機関が区内の一点に集まっていないという区の地域課題の解決に向けて、関係局と連携して交通網の整備に向けた検討を進める。 平成24年度から調査及び検討を進めている、区役所・宮前平駅・鷺沼駅を結ぶ路線について、社会実験の実施を目指す。	拡充
地域福祉・健康づくり事業	6	健康づくり支援事業	区民が健康で生き生きと生活していくため、身近な健康づくりや取り組みやすい情報を提供する健康づくり情報紙を発行する。	継続
	7	高齢者健康づくり支援事業	身近な公園で、住民が主体的に体操等の活動を展開することで、介護予防、生活習慣病予防、閉じこもり予防を行っている。公園体操は区内に43か所(平成24年7月現在)あり、この1年で新たに7か所立ち上がっている。そこで、平成23年度に改訂した公園体操マップを全面改訂し、配布することで公園体操を普及していく。	新規
	8	地域が主体となった高齢者の見守り促進事業 (局区連携事業)	高齢者の孤立化を防ぎ、地域で安心して暮らしていくために、区内の公営住宅において住民同士の顔の見える関係づくりを進め、地域主体の見守り活動や居場所づくりの取り組みを推進する。 3年間の集大成として、見守り活動事例集を発行するほか、モデル地区を2地区から3地区に拡大する。	拡充

平成25年度 宮前区地域課題対応事業計画（案）

基本政策	事業名	事業概要	区分
総合的なこども支援事業	9 子育て情報発信事業 (区民会議課題)	子育て世代が抱えている孤立や育児不安の軽減を図り、子育てを行う一人一人に必要な情報を分かりやすく届けるため、最新の子育て情報を提供する情報誌を年2回発行するほか、ホームページの更新を行う。また、「宮前区子育て情報誌改訂委員会」を立ち上げ、子育て情報誌「みやまえ子育てガイドとことこ」を全面改訂する。	拡充
	10 宮前区子育て支援事業 (区民会議課題)	親の子育て力を養成し、仲間づくりや子育てグループの人材育成を図るため、子育てに関する知識と技術を持つ公立保育園の人材を活用し、セミナーを開催する。	継続
	11 子ども支援ネットワーク事業 (区民会議課題)	子どもに係る関係機関・団体等とのネットワーク強化を図るため、関係機関・団体等との会議を開催するほか、事例検討会、虐待予防のための講演会を開催する。	継続
	12 包括的なこども子育て支援事業	野川・有馬地区の子ども・子育て拠点「こどもサポート南野川」で、子育てサロンや子育て相談、フリースペースの開催などを行う。	継続
	13 包括的なこども子育て支援事業 (局区連携事業)	不登校など問題を抱える子どもが増える中、学齢期から18歳までの様々な課題を持つ子どもたちの居場所づくり、生活・学習支援、相談などを行い、問題の改善とひきこもりの予防を行う。 こどもサポート南野川の利用者の増加への対応、支援の充実のため、スタッフの増員等を行う	拡充
	14 子育て支援食育推進事業	区内の栄養士による地域子育て支援食育講座を開催し、子育て世代の保護者に食事に関する正しい情報を提供することで子育ての不安や悩みを解消する。	継続
環境まちづくり事業	15 花と緑のあふれる住みよいまちづくり事業	区内の緑化を促進するため、地域緑化推進地区や緑化活動団体に花苗などを提供するとともに、緑化推進団体間のネットワークを構築するための勉強会を開催する。	継続
	16 ecoゴコロプロジェクト推進事業	市民活動団体などをはじめとした市民主体によるネットワークを形成し、環境配慮に向けた取組をより一層推進する。また、区役所庁舎に遮光フィルムを設置、LED照明への改修を行うことで省エネ化を図り、区民への啓発に繋げる。	拡充
地域資源活用事業	17 みやまえロビーコンサート開催事業	区民に親しまれる区役所をめざして、区役所2階ロビーまたは区内の行政施設で、質の高い様々なジャンルの音楽を提供するコンサートを行う。コンサートの開催回数を年12回から15回に増やし、区内の行政施設を巡回する。	拡充
	18 みやまえ太鼓ミーティング開催事業	地域の文化・伝統を再認識し、個性豊かで魅力ある文化の創造をめざして、区内に数多く残る民俗芸能や和太鼓の演奏を行う。	継続
	19 しあわせを呼ぶコンサート開催事業	音楽を通じ、障害者と健常者の相互理解と交流を深めながら区民の心のバリアフリーをめざすとともに、障害者の社会参加と自立を促すため、コンサートを実施する。	継続
	20 地域の魅力発信事業	地元に対する愛着の醸成や来訪者の増加を図り地域の活性化を図るため、地域を巡るウォーキングイベントの実施やマップの作成により、地域の魅力発信を行う。	継続

平成25年度 宮前区地域課題対応事業計画（案）

基本政策	事業名	事業概要	区分	
地域資源活用事業	21	みやまえ映像コンクール支援事業	中学生が地域を知り、親しむ機会を確保しつつ、市民活動団体が中学生を対象に実施している映像コンクールを支援する。また、シニア向け講座を開催する。	継続
	22	友好都市交流事業	宮前区観光協会と協働し、友好都市長野県佐久市との物産・観光交流や市民間交流などの交流事業を行う。	継続
	23	みやまえC級グルメコンテスト事業	区内産の農産物を使ったグルメコンテストを実施することにより、消費者側からの区内農産物の活用を促進し、地域全体の経済の活性化や農地の維持による環境の保全を推進する。 コンテストは一般市民部門とプロの料理家部門で行い、それぞれのグランプリ受賞者には料理講習会で指導してもらう。また、応募のあったレシピはホームページなどで公表する。	新規
地域コミュニティ活性化推進事業	24	まちづくり推進事業	魅力あるまちづくりを推進するため、中間支援機能を有するまちづくり協議会と協働し、地域の市民活動団体への支援等に取り組む。	継続
	25	まちづくり支援事業	中間支援機能を持つまちづくり協議会の効率的かつ効果的な運営と区民のまちづくり活動に対する支援を行う。	継続
	26	魅力あるスポーツ推進事業	スポーツ施設の少ない宮前区で既存施設を活用した事業を実施することで、より多くの区民がスポーツに親しめる環境をつくる。 フロントウんさぎぬまとの連携事業として、グラウンドゴルフ大会やポールウォーキング観戦ツアー等を開催する。また、トップアスリートを活用してスポーツを推進する。	継続
	27	魅力あるスポーツ推進事業（局区連携事業）	スポーツ施設の少ない宮前区で新たな施設整備を実施することで、より多くの区民がスポーツに親しめる環境をつくる。 鷲ヶ峰けやき公園隣接の未利用公益地の整備を行う。	拡充
	28	みやまえスポーツふえすていばる開催事業	スポーツを通じた区民同士の交流と健康増進を図るために、各種スポーツ事業を実施するとともに、地域スポーツの活性化を図る。	継続
	29	地域情報発信事業（区民会議課題）	地域のイベント情報を情報誌やポータルサイトで広く発信するほか、町内会・自治会への回覧物を一括して送付する。また、地域コミュニティへの参加を促す冊子を作成し、転入者等に配布する。	継続
	30	宮前ガイドマップ作成事業	転入者を主な配布対象とし、地域を知って愛着を持ってもらえるよう宮前区と区内主要施設を紹介するガイドマップを修正し発行する（毎年度増刷・情報更新）。	継続
	31	多様な主体の社会参加促進事業	遊びを通じて中高生や外国人市民など、世代間の交流と多様な市民の交流を図るために、「夏休みこども遊びランド」を実施する。	継続
32	地域活動の促進に向けた人材育成及び推進体制の整備	地域人材の育成と活用を進めるため、地域人材育成指針の策定に基づき、区役所各課が連携したモデル事業を行う。	継続	

平成25年度 宮前区地域課題対応事業計画（案）

基本政策	事業名	事業概要	区分
地域コミュニティ活性化推進事業	33 市民活動支援拠点のネットワーク事業	市民活動の活性化を図るため、区民活動支援拠点施設を充実させ地域コミュニティの醸成につなげる。	継続
	34 みやまえカルタ制作事業（区民会議課題）	地域への愛着を育み、地域コミュニティの活性化を図るため、24年度に作成したみやまえカルタを活用して、地域や教育現場で活用し、区内に浸透させるための広報事業を展開する。	継続
	35 冒険遊び場活動支援事業	身近な公園等を活用し、地域住民が主体となった「冒険遊び場」活動を支援することで、次世代育成の場づくり、地域コミュニティの活性化を目指す。	継続
	36 宮前区誕生30周年記念事業	区誕生30周年記念事業の総括として、記念式典をはじめとする多彩な記念事業の記録を写真と文書でまとめた記録紙を作成し、後世に伝えることにより、さらなる区政発展の契機とする。	継続
	37 坂道を活かした活力づくり事業（区民会議課題）	マイナスイメージのある坂道を活用し、健康づくりやコミュニティづくりにつながるウォーキング教室の実施や、坂道の活用方法を提案する動画を作成する。	継続
区役所サービス向上事業	38 宮前区役所BGM配信事業	庁舎の雰囲気をもくし、来庁者に親しまれる区役所をめざし、庁舎内にBGMを流す。	継続
	39 バリアフリー推進事業	来庁者が安心して利用できる庁舎整備の一環として、市民広場東南部のタイルをノンスリップ化し、区民の安全確保を図る。	継続
	40 窓口サービス向上事業	区民課の待合スペースの環境整備として、小さな子ども連れの区民向けの絵本コーナーのメンテナンスを行い、快適な待合環境を提供する。	継続
	41 宮前区役所サービス向上推進事業	来庁者が快適に利用できる庁舎整備の一環として、汚れて劣化の激しい壁紙を張り替え、庁舎利用に際する不快感を取り除く。	新規
地域課題対応その他事業	42 管理運営費	地域対応事業の事務経費等	継続
	43 緊急対応費	緊急的な事業に対応するための経費	継続
	44 地域の課題解決を図る事業提案制度事業	地域の課題を地域自ら解決していくことを目指し、区民会議から提案された課題の解決等に取り組む団体等を広く募集し、委託、事業補助などの手法で事業を実施する。	継続

